

精華町少年少女合唱団との音楽交流会を開催しました

地域の子どもたちとの交流を通じて、心温まるひとときとなりました

南京都病院では、このたび精華町少年少女合唱団の皆さまをお迎えし、当院で福祉サービスを利用されている重症心身障害児の皆さまとの音楽交流会を開催しました。

今回の交流会は、外出の機会が限られる利用者の皆さまに、地域の子どもたちとのふれあいや社会とのつながりを感じていただく機会として、当院が初めて企画したものです。合唱団の小学生メンバー14名が来院され、午前と午後の2回にわたり、利用者の皆さま約20名の前で美しい歌声を披露してくださいました。

交流会では、合唱曲「虫の絵本」や「アンパンマンのマーチ」など全7曲が披露され、会場に息の合った歌声が響きました。合唱団の皆さまは、一曲ずつ丁寧に曲を紹介しながら心を込めて歌い、利用者の皆さまもハンドベルで応えるなど、音楽を通じた交流を楽しみました。



重症心身障害児と精華町少年少女合唱団
南京都病院で音楽交流

南京都病院（城陽市中）で福祉サービスを利用する重症心身障害児らと、精華町少年少女合唱団による地域交流会が、同病院で初めて開かれた。合唱団のメンバーが気持ちを込めた歌声を披露し、障害のある子どもたちはハンドベルで応えるなど、音楽を通じたひとときを楽しんだ。

外出が限られる重症心身障害児が地域の子どもたちと交流し、社会とのつながりを感じられる機会になればと、南京都病院が企画した。

交流会では合唱団に所属する小学生の男女14人が訪れ、午前と午後の二つのステージに出演。障害のある同年代の児童ら計20人を中心に、合唱曲「虫の絵本」や「アンパンマンのマーチ」など計7曲を歌った。

合唱団のメンバーは、初めは緊張した面持ちだったが、一曲ずつ丁寧に曲を紹介し、

京都新聞社様にも取材いただき、交流会の様子が紹介されました。

ご参加いただいた精華町少年少女合唱団の皆さまに心より感謝申し上げます。
南京都病院では、今後も地域とのつながりを大切にしながら、利用者の皆さまに豊かな時間を過ごしていただける取り組みを進めてまいります。